

私学助成署名推進ニュース

全国私学助成をすすめる会 事務局：全国私教連
No.29 2024年11月18日(月)

第13回 くまもと高校生フェスティバル 街中で県議・教育長と高校生が学費問題でトークセッション!! 9校140人の群舞が道行く人を魅了!!!

3日神奈川私学のつどい、10日愛知BIGフェスに続き、11月17日は、熊本、京都、東京で「フェスティバル」「私学のつどい」が開催されました。熊本市街のメイン商店街サンロード新市街を会場に、市の花博とコラボして開催。当日までサンロードの役員さんとの打ち合わせも高校生が行ってきました。当日は県議会議員とのトークセッション、県教育庁との対談、部活動の発表、バザーなど盛りだくさん。極めつけは140人の群舞でした。



熊本の高校生フェスティバルは13回を数えますが、公立高校生を実行委員会に迎える、佐賀をはじめ九州の高校生の参加を得るなど、さまざまな形でとりくみを広げてきました。今年も夏から高校生実行委員会を繰返し11月17日を迎えました。市街地のメイン商店街である「新市街サンロード」を会場にし、熊本市の花博ともコラボして開催しています。商店街の方といっしょに企画会議にも参加してきています。

県議会議員と「私学の学費問題と私学助成拡充」について話す、「トークセッション」を実施してきました。今年も自由民主党、立憲民主党、維新の会、日本共産党の4党4人の県議会議員さんが出席され、5校5人の高校生フェスティバル実行委員と、私学の学費問題についてのトークセッションを展開しました。さらに、今年は、熊本市教育長が参加してくださり、県議さんとは別に実行委員高校生と対談してくださいました(上記：左の写真)。着席して聴いておられた参加者だけでなく、多数の通行人の方々にも、私学の高学費の問題、私学助成制度の存在、拡充の必要性を大きくアピールする場面となりました。

参加者の広がりがすすんだフェスティバル

まだ「私学助成をすすめる会」へ学校として参加する学校が広がり切っていませんが、今年は若い先生方の自主的なつながりが契機となってその学校の高校生が実行委員会へ参加してきました。そしてその生徒さんが学校のバトン部にも声をかけ、結果20人が群舞に参加するという広がりをつくりだされました。その他にもすすめる会未参加2校の生徒さんの参加、その上ですすめる会参加校からの高校生の参加も増え、最終的には9校140人が舞う、圧巻の群舞となりました。



ここから私学助成全国署名へ最大の注力を!!

どの政党も「教育の無償化」を衆議院総選挙の公約に掲げていた情勢を、「私学の無償化」の前進と専任増の土台「私学経常費助成」大幅拡充に署名運動で引き寄せよう!!

山形50%、福岡45%、青森24%(3県とも目標比)へ到達!!

東京では、拠点校2校で前年同期を上回る集約を実現!! 各県も続こう!!

11月15日は3回目の全国集約日でした。本部から電話による点検も行っています。山形、福岡では、目標の半数に近づく集約となっています。また東京の明治学院高校、正則高校では前年同期を上回る集約数に到達しています。しかし現時点での全国集約数は、残念ながら集約目標の1割という状況です。対県提出までには時間も限られてきています。学園単位、都道府県単位で、毎日声を掛け合って、昨年を上回る集約数を実現し、子どもたちの学ぶ権利を守るために、私学助成の大幅増額を訴えましょう!!